

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		病児・病後児保育事業費 [病児・病後児保育事業]													
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費	事業番号	12				
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)														
担当部署・課長名	保育			課			保育・幼稚園			係	課長名	関田 孝志			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4						
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書(ページ)	59						
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)									
	病児・病後児保育室を利用できる世帯					→ 0~12歳の児童数(4月1日現在)									
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)									
	保護者は育児と仕事の両立、病中の児童は適切な保育を受けられる。					→ 病児・病後児保育室を利用した児童数									
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)									
	病中の児童が病児・病後児保育室を利用した際、当該病児・病後児保育室の運営者に補助金を交付した。					→ 病児・病後児保育室における補助金交付対象児童数									
	対象指標		①の数値	人	過去2年間の実績	平成31年度実績	9,558	令和2年度実績	9,421	当該年度	令和3年度実績	9,202	成果目標	令和4年度目標	令和5年度目標
	成果指標		②の数値	延人	953	209	564	目標		②の目標値		延人	953	209	564
目標値設定の考え方 病児・病後児保育室の運営者に補助金を交付することにより、保育を受けることのできた病中の児童数(延人)とした。															
活動指標		③の数値	延人	953	209	564									
3 経費	事業費(実績)		円	22,480,230	23,455,612	24,199,600	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)								
	一般財源		円	6,344,230	4,960,612	7,132,600									
	特定財源(国・都・他)		円	28,824,460	18,495,000	17,067,000									
	(うち受益者負担)		円	0		0									
	所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2	0.2									
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0									
	職員人件費(再任用以外)		円	1,662,000	1,676,000	1,650,000									
職員人件費(再任用)		円	0	0	0										
事業費+人件費		円	24,142,230	25,131,612	25,849,600										
4 環境変化等	(1) 開始年度		H23 年度												
	(2) 環境の変化		平成27年度から保育園で保育中に児童が熱等で補助者のお迎えが必要になった時に、代わりにお迎えを行い、専用の保育室で保育を行う「お迎えサービス」を実施している。 令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少した。そのために、施設に対しては持続可能な安定的運営を図っていくため、例年と同等の利用者数(延べ利用人数区分：1,000人~1,100人)で補助を執行できるよう契約を交わした。国及び都からの補助事業(子ども子育て交付金)については、前年度を上限(延べ利用人数区分：1,000人~1,100人)に補助する特例措置を活用した。												

